



2018年10月10日

各 位

会 社 名 株式会社メディアドゥホールディングス
代表者名 代表取締役 社長執行役員 CEO 藤田 恭嗣
(コード：3678、東証第一部)
問合せ先 取締役 上級執行役員 CFO 片山 誠
(TEL. 03-6212-5113)

投資有価証券評価損の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2019年2月期第2四半期において投資有価証券評価損が発生する見込みとなったことを踏まえ、2018年7月13日に公表した2019年2月期(2018年3月1日～2019年2月28日)の通期連結業績予想について下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 修正の内容

2019年2月期通期連結業績予想数値の修正

(2018年3月1日～2019年2月28日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	45,000	930	940	450	39円51銭
今回修正予想(B)	45,000	930	940	△531	△46円37銭
増減額(B-A)	-	-	-	△981	△85円88銭
増減率(%)	-	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (2018年2月期)	37,213	930	831	358	32円56銭

(2) 修正の理由

2019年2月期第2四半期連結業績において、下記のとおり投資有価証券評価損の計上が見込まれるため、2019年2月期通期連結業績予想数値を修正いたします。なお、2019年2月期第2四半期連結業績につきましては10月15日に発表を予定しており、売上高、営業利益、経常利益については堅調に推移していることから、2019年2月期通期連結業績予想数値は、親会社株主に帰属する当期純利益、並びに、1株当たり当期純利益、の2点のみ修正いたします。

配当予想につきましては前回公表予想のとおり、未定とさせていただきます。

2. 投資有価証券評価損の計上について

(1) 投資有価証券評価損の内容

当社は、2016年8月26日に発表した Creatubbles Pte. Ltd.（以下、Creatubbles）との資本業務提携において引き受けた株式の投資有価証券評価損として466百万円を2019年2月期第2四半期に計上する見込みであります。

また、2017年5月17日に発表した IRI グループとの資本業務提携において引き受けた株式会社インターネット総合研究所（以下、インターネット総合研究所）株式（※）の投資有価証券評価損として515百万円を2019年2月期第2四半期に計上する見込みであります。（※ 現在は、株式会社インターネット総合研究所の株式を100%保有するイスラエル法人 Internet Research Institute Ltdの株式を保有しています。）

（2）背景

Creatubbles においては、サービスの認知度を十分に高めることができず、当初策定した計画に対して業容拡大の遅れが生じていることから、将来の回収可能性を検討した結果、保有する株式価値の見直しが必要と判断し、投資有価証券評価損を計上する見込みであります。

インターネット総合研究所においては、その株式を100%保有するイスラエル法人 Internet Research Institute Ltdが2018年8月6日にイスラエルのテルアビブ証券取引所へ株式上場しましたが、2018年8月末時点の時価総額が投資時の評価を下回っていることから、投資有価証券評価損を計上する見込みであります。

（3）今後の施策

当社は、将来の成長機会として M&A や資本提携を行ってまいりました。これらの実施に当たっては、対象となる企業の財務内容や事業について詳細な事前審査を行い、意思決定のために必要かつ十分な情報収集と検討を行った上で決定しています。

その結果、当社にとって最大規模の M&A 案件であった株式会社出版デジタル機構をはじめ、買収した子会社や出資先のなかには当初の計画以上に業績が好調に推移している企業も存在します。しかしながら、今般の投資有価証券評価損の計上に鑑み、投資方針や投資基準を見直すとともに、子会社や投資先の事業成長や価値増大を実現するべく、人材を増強し管理体制を強化してまいり所存です。

以 上